

IoT 時代に向けたナノワイヤデバイス展開とその物理

Evolution of nanowire devices and physics for IoT era

開催日時: 3月18日(日) 13:30~(終了時間は未定)

ナノワイヤは、微小な信号やエネルギーのマネジメントに適した構造体であることから、来たるIoT時代に向けて高感度なセンサや高効率のエネルギーハーベスタへの応用を目指した検討が本格化してきています。また、これまでには無かったようなデバイスの創出に向けてトポロジーなどの新しい物理を取り入れる動きもあります。本シンポジウムは、これらに関する最新の取り組みについて広く議論し、ナノワイヤ技術の将来性について情報共有することを目的として企画しました。皆様の参加をお待ちしています。

招待講演(予定講演順、敬称略)

- ◇ 柳田 剛 (九州大学)
「単結晶ナノワイヤを用いた分子認識デバイス」
- ◇ 安井 隆雄 (名古屋大学)
「ナノワイヤのバイオ・医療応用」
- ◇ 牧 英之 (慶應義塾大学)
「ナノカーボンによるチップ上量子デバイス・光電子デバイス開発」
- ◇ 松尾 貞茂 (東京大学)
「半導体ナノ細線/超伝導体ハイブリッド構造でのマヨラナ粒子の探索」
- ◇ 内田 健一 (物質・材料研究機構)
「スピントロニクスを用いたナノスケール熱制御」
- ◇ 太田 裕道 (北海道大学)
「二次元電子系の熱電ゼーベック効果」
- ◇ 山田 智明 (名古屋大学)
「圧電ナノジェネレータに向けた強誘電体ナノロッドの成長と物性制御」
- ◇ 河口 研一 (富士通)
「電波ハーベスタ向け化合物ナノワイヤの開発」

世話人: 原 真二郎 (北大)、河口 研一 (富士通)、深田 直樹 (NIMS)